2022年度一般社団法人日本消化器がん検診学会事業報告書

（自2022年4月1日　至2023年3月31日）

1. 定款第5条1号（消化器がん検診に関する学術集会、学術講演会、研究会等の開催）

◎総　会

第61回総会　テーマ：「“一隅を照らす” –コロナ禍にも絶やさないがん検診の灯– 」

会　　長：中島滋美（滋賀医科大学地域医療教育研究拠点・JCHO滋賀病院）
会　　期：2022年6月10日（金）～ 6日12日（日）
会　　場：完全Web開催
参 加 数：1,533名
演題総数：主題14題　一般演題20題 （オンライン発表）
内　　容：
理事長講演（1）　「これからの日本消化器がん検診学会」
会長講演　（1）　「背景胃粘膜診断と胃がん検診の将来展望」
特別講演　（4）　「コロナのこれまで、これから～日本消化器がん検診学会の皆様への期待も込めて～ 」
「一隅を照らす」
「Current status of gastric cancer screening using endoscopy in South Korea」
「消化管内視鏡スクリーニング認定医制度について」
報　　告　（1）　「2019年度消化器がん検診全国集計報告」
教育講演　（4）　「生命・医学系指針と改正個人情報保護法で知っておくべき事項」
「膵がん検診の今後の展望」
「がん検診の不利益減少に向けたリスク層別化の応用」
「胃炎の病理学的基礎と最近の話題」
シンポジウム（1）　「ICTを駆使したがん検診のこれから」
パネルディスカッション（1）「コロナ禍がもたらした消化器がん検診への影響と今後の課題」
ワークショップ（1）「きたるべき大腸内視鏡検診を見据えて」
一般演題1～5（コロナ関連、咽頭・食道・胃、大腸、胃・十二指腸、超音波・その他）
超音波フォーラム（1）、放射線フォーラム（1）、附置研究会（3）
ランチョンセミナー（2）

◎大　会

第60回大会（JDDW参加）「テーマ：次世代の消化器がん検診を求めて」

会　　長：丹羽康正（愛知県がんセンター）
会　　期：2022年10月27日（木）（JDDW会期：10月27日（木）～ 30日（日））
会　　場：福岡国際会議場他（現地及びWebのハイブリッド）
備　　考：参加学会
日本消化器病学会　　会長：村上和成
日本消化器内視鏡学会　会長：植木敏晴
日本肝臓学会　　会長：坂元亨宇
日本消化器外科学会　　会長：田邊　稔
参　　加：24,220名
演題総数：主題　9題　一般演題　30題

内　　容：
会長講演　(1)　「消化器がん検診　-これまでとこれから- 」
理事長講演（1）　「がん克服を目指して」
特別講演　(1)　「血液バイオマーカーが拓く大腸がん検診の近未来」
招待講演　(1)　「The advantages of using FIT for colorectal cancer screening」
大会会長賞（1）　「4 つの抗体測定系での *H.pylori* 除菌後の血清抗体陽性率の検討」
30 回記念公演（2）「iPS 細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み」
「Serendipities acquired immunity」
JDDW 教育講演（8）e-learning 形式
JDDW 医療セミナー（7）「オンライン診療と遠隔
医療の現状と課題」
JDDW2022 女性医師・研究者プログラム（11）「医師の働き方改革と女性医師・研究者のキャリア形成」
パネルディスカッション（主導）（2）「精度の高い胃がん検診への取り組み」
「死亡率減少を目指した大腸がん検診」
一般演題（デジタルポスターセッション）：
大腸（CT 検査・カプセル）、大腸（受診勧奨・プロセス）、大腸（検査法・その他）、肝・胆・膵・その他 1、肝・胆・膵・その他 2、胃（X 線検査）、食道・胃（内視鏡検査）、胃（検査法・精度管理）、胃（対策・その他）
JDDW 統合プログラム（4）、インターナショナルセッション（3）、シンポジウム（4）
パネルディスカッション（9）、ワークショップ（9）、ハンズオンセミナー（8）
インターナショナルポスターセッション（12）、メディカルスタッフプログラム（2）
ブレックファーストセミナー（3）、ランチョンセミナー（1）
サテライトシンポジウム（3）

◎地方会（各 7 支部、年 1 回開催）

・第 51 回北海道地方会（完全 Web 開催）
会　長：松浦　邦彦（北海道対がん協会釧路がん検診センター）
会　期：2022 年 7 月 2 日（土）
参加数：144 名
内　容：特別講演(1)、 教育講演(1)、 一般演題(8)

・第 60 回東北地方会（テーマ：東北地区の消化器がん検診の現状と課題、将来展望）
会　長：阿部　靖彦（山形大学医学部附属病院　光学医療診療部）
会　期：2022 年 7 月 2 日（土）
会　場：大手門パルズ（ハイブリッド開催）
参加数：279 名（医師 92 名、医師以外 182 名、招待 5 名）
内　容：特別講演(1)、教育講演(4)、症例検討会(1)、スポンサードセミナー(2)
パネルディスカッション(1)

・第 81 回関東甲信越地方会（テーマ：消化器がん検診の再出発）（完全 Web 開催）
会　長：中島　寛隆（早期胃癌検診協会付属茅場町クリニック所長）
会　期：2022 年 9 月 4 日（日）　（9 月 16 日 ～ 30 日配信）
参加数：546 名（内招待者 27 名）
内　容：教育講演(2)、パネルディスカッション(1)、共催プログラム(1)、症例検討会(1)
一般演題、ランチョンセミナー、スポンサードセミナー(2)、

ザ・ベストイメージングコンテスト

・第 51 回東海北陸地方会
会　長：宗本　義則（福井県済生会病院外科）
会　期：2022 年 11 月 26 日（土）
会　場：福井県民ホール　AOSSA 8 階
参加数：196 名（内招待者 5 名）
内　容：特別講演(1)、教育講演(1)、シンポジウム(1)、基調講演(2)、一般演題、
ランチョンセミナー

・第 51 回近畿地方会（テーマ：消化器がん検診に及ぼしたコロナ禍の影響と今後の展望）
会　長：小山　文一（奈良県立医科大学　消化器・総合外科学教室/中央内視鏡部）
会　期： 2023 年 1 月 14 日（土）
会　場：奈良春日野国際フォーラム甍　～ I・RA・KA ～
参加数：270 名（内招待者 12 名）
内　容：シンポジウム(1)、教育セミナー(1)、ランチョンセミナー(2)、
アフタヌーンセミナー(1)、パネルディスカッション、特別講演

・第 53 回中国四国地方会
会　長：石原　俊治（島根大学医学部内科学講座　内科学第二）
会　期：2022 年 11 月 26 日（土）、27 日（日）
会　場：ビッグハート出雲
参加数：131 名（内招待者 9 名）
内　容：特別講演(2)、教育講演(3)、シンポジウム(1)、症例検討会、一般演題、
ランチョンセミナー(2)

・第 51 回九州地方会（テーマ：これからの消化器がん検診）（完全 Web 開催）
会　長：尾上　耕治（宮崎市郡医師会病院　健診センター）
会　期：2022 年 9 月 10 日（土）
参加数：265 名（内招待者 29 名）
内　容：会長講演(1)、教育講演(2)、一般演題、胃 X 線症例検討会、
ランチョンセミナー(1)

◎第 3 回医師研修会（総会時に開催）
日　時：2022 年 6 月 10 日（金）～ 21 日（火）　オンデマンド配信にて開催
参　加：A セッション 255 名　B セッション 256 名
内　容：**A セッション 消化器がん検診の基本と展望**
1. がん検診の基本的考え方
2. 胃 X 線読影の基本と胃がん検診における今後の役割
3. 大腸がん検診の現状と展望（大腸内視鏡検査の導入も含めて）
4. 腹部超音波スクリーニングの基本と展望

B セッション　消化器がん検診に関する最近の話題
1. 上部消化管内視鏡スクリーニングの将来像（咽喉頭から十二指腸下行部まで）
2. *H.pylori* 除菌後胃がんと未感染胃がん
3. 大腸 CT 検査の現状と今後の展望

4. NASH/NAFLD の最近の話題
5. 消化器がん検診における医療安全（判例を含めて）

◎支部主催医師研修会

北海道支部　日時：2022 年 7 月 2 日（土）（Web 開催）
参加：17 名
東北支部　日時：2022 年 7 月 2 日（土）（Web 開催）
参加：92 名
関東甲信越支部　日時：2022 年 9 月 4 日（日）（Web 開催）
参加：26 名
東海北陸支部　日時：2022 年 11 月 26 日（土）（Web 開催）
参加：56 名
近畿支部　日時：2023 年 1 月 14 日（土）（Web 開催）
参加：50 名
中国四国支部　日時：2022 年 11 月 26 日（土）、27 日（日）（出雲市）
会場：ビックハート出雲
参加：20 名
九州支部　日時：2022 年 9 月 10 日（土）（Web 開催）
参加：15 名

◎第 7 回胃がん検診専門技師研修会

日　時：2022 年 10 月 3 日（月）～ 10 月 17 日（月）
（オンデマンド配信による Web 開催）
参加数：354 名
内　容：「既感染者のハイリスク像に迫る」
「X 線検査における *H.pylori* 既感染診断について」
「*H.pylori* 既感染胃がんの臨床病理学的特徴」
「X 線検査における既感染胃がん」
「症例検討会」

◎第 3 回読影 e-learning（読影補助認定技師資格取得のため）

受講期間：2022 年 3 月 7 日（月）～ 5 月 31 日（火）
受講者数：137 名

◎第 3 回大腸 CT 検査教育研修会・検査実践トレーニングコース（総会時併催）

日　時：2022 年 6 月 10 日（金）～ 6 月 21 日（火）　オンデマンド配信にて開催
参加数：教育研修会　54 名　実践トレーニングコース　51 名
内　容：**教育研修会**
総論（エビデンス、精度、ガイドラインと大腸 CT 診断の最前線）
各論（前処置、撮影法、読影の概略）

実践トレーニングコース（ワークステーションを使ったデモンストレーション）
概論（読影の流れ）
症例提示（腫瘍性病変、病変との識別、偽陽性・偽陰性、ピットホール）

◎各支部主催の検診従事者研修会（放射線・超音波・保健師）

7支部にてそれぞれ各種研修会を開催した。（11～12頁参照）

2. 定款第5条2号（機関誌及び学術研究図書等の刊行）

1）日本消化器がん検診学会雑誌を電子ジャーナル版にて刊行（J-STAGE＆KaLib）
（英文名：Journal of Gastrointestinal Cancer Screening）
発刊月：隔月奇数月
号　数：Vol.60(3)号～Vol.61(2)号 ＋Supplement 2冊（総会・大会抄録集）

3. 定款第5条3号（消化器がん検診に関する実態調査及び研究の奨励、業績の表彰）

1）全国の消化器がん検診に関する実態調査をオンラインで実施
2）業績等の表彰
・　有賀記念学会賞
山道信毅（東京大学医学部附属病院　予防医学センター）
・　学術奨励賞
関口正宇（国立がん研究センター中央病院　検診センター）
対象論文：ポリープ切除を伴わない大腸内視鏡検診の可能性
森川敬斗（国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院　放射線技術科）
対象論文：大腸CT検査におけるポリープ計測時の適正ウィンドウ幅の検討
3）各種附置研究会活動（2022年度をもって終了）
・大腸がん検診精度管理検討研究会
・胃X線検診のための読影判定区分の運用・評価に関する研究会
・胃がんリスク評価に関する研究会
・対策型胃がん内視鏡検診研究会

4. 定款第5条4号（国際的な研究の奨励及び助成）

1）国際研究費助成金：該当者なし
2）国際学会参加支援：該当者なし

5. 定款第5条5号（消化器がん検診認定医（専門医）及び指導医・指導施設の認定並びに専門技師の認定）

1）総合認定医
・第3回（2020・2021・2022年度）総合認定医試験を行った。
合格者数　145名
2）認定医制度（旧）
・新規認定医・指導医・指導施設の審査を行った。
2022年度：認定医13名、指導医27名、指導施設　3施設
・認定医・指導医・指導施設の更新を行った。
2022年度：認定更新 89名、指導医 83名、指導施設　29施設
3）胃がん検診専門技師認定制度
・新規認定審査を行った。
2022年度：認定技師 104名
・認定技師の更新を行った。
2022年度：認定更新 430名
4）胃がん検診専門技師による読影補助認定制度
・新規認定審査を行った。
2022年度：読影補助認定技師 128名
5）大腸CT検査技師認定制度

・新規認定審査を行った。
2022 年度：大腸 CT 検査技師認定 28 名

6. 定款第 5 条 6 号（消化器がん検診に関する社会への啓発活動）

消化器がん検診に対する国民の関心を高める目的で一般市民向けの公開講座を開催する。
市民公開講座：開催なし

2022年度日本消化器がん検診学会　7支部の各種事業報告

事業別	項目/支部	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
地方会	回数	**第51回**	**第60回**	**第81回**	**第51回**	**第51回**	**第53回**	**第51回**
	会長	松浦邦彦	阿部靖彦	中島寛隆	宗本義則	小山文一	石原俊治	尾上耕治
	会長所属先	北海道対がん協会釧路がん検診ｾﾝﾀｰ	山形大学医学部附属病院 光学医療診療部	早期胃癌検診協会	福井県済生会病院外科	奈良県立医科大学 消化器・総合外科学教室 中央内視鏡部	島根大学医学部内科学講座（内科学第二）	宮崎市郡医師会病院　健診ｾﾝﾀｰ
	会期	2022年7月2日	2022年7月2日	2022年 9月4日 （9/16～9/30配信）	2022年11月26日	2023年1月14日	2022年11月26日～27日	2022年9月10日
	会場	札幌医科大学　臨床講堂(Web開催)	大手門パルズ（ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催）	WEB開催	福井県民ﾎｰﾙ AOSSA 8階	奈良春日野国際ﾌｫｰﾗﾑ甍～I・RA・KA ～	ﾋﾞｯｸﾞﾊｰﾄ出雲	WEB開催およびオンデマンド配信2週間
	参加費	医師3,000円、他1,000円	医師3,000円、医師以外2,000円	医師4,000円、その他2,000円	医師3,000円、その他2,000円	医師6,000円、医師以外3,000円	3,000円	医師5,000円、医師以外3,000円
	参加者数	参加者：144名、招待者：0名	参加者：274名（内 医師92人、医師以外182人） 招待者：5名	参加者：519名、招待者：27名	参加者：191名、招待者：5名	参加者：258名、招待者：12名	参加者：122名、招待者：9名	参加者：236名、招待者：29名
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	特別講演「これからの効率の良い大腸がん検診のために－内視鏡検査、大腸CT検査の位置づけ－」、教育講演「胃X線・内視鏡検診の多職種連携による精度向上」、一般演題8題	特別講演「疾患横断的エビデンスに基づく健康寿命延伸のための提言（第一次）」 教育講演1.「山形県の除菌までを考慮したX線検診による胃がん死滅少対策の現状と今後の展望」 教育講演2.「 胃がん死撲滅を目指した胃がん対策、胃がん検診 ～現状とこれから～」 教育講演3.「大腸がん検診の現状と問題点 -青森県大腸がん検診モデル事業からわかったこと-」 教育講演4.「膵癌の早期発見を目指して～超音波担当者としてすべきこと～」 ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ「東北地区の胃がん検診（X線検診・内視鏡検診）の現状と課題 -コロナ禍の影響も含めて-」 スポンサードセミナー「胃がん検診の観点からみた内視鏡AIへの期待」 スポンサードセミナー「世界に挑戦する日本の内視鏡[illegible]	ﾃｰﾏ：消化器がん検診の再出発 教育講演1「胃X線検診安全基準　第2版完成までの道程と全国的な活用に向けて」、教育講演2「超音波判定2021」、ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ「地域別に見た対策型胃内視鏡検診の現状と問題点―都市部と山間部における運営の工夫」、ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ「公開討論　大腸がん検診が真の効果を発揮するには」、基調講演「大腸内視鏡の最前線～AIやLED内視鏡の活用～」、基調講演2「COVID-19感染拡大期における消化器がん検診の現況」、一般演題、ﾗﾝﾁｮﾝｾﾐﾅｰ、ｽﾎﾟﾝｻｰﾄﾞｾﾐﾅｰ①～②、ｻﾞ･ﾍﾞｽﾄｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞｺﾝﾃｽﾄ	特別講演「日本の大腸がん死亡を減らすために、私たちは何をすべきか？」、教育講演「大腸がん検診における大腸CT検査の有用性とその実際」、シンポジウム「がん検診の普及にむけた新たな取り組み」、基調講演「大腸内視鏡の最前線～AIやLED内視鏡の活用～」、基調講演2「COVID-19感染拡大期における消化器がん検診の現況」、一般演題、ランチョンセミナー	テーマ：消化器がん検診に及ぼしたコロナ禍の影響と今後の展望、ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ「がん診療に及ぼしたコロナ禍の影響」、教育ｾﾐﾅｰ「精密検査における大腸CT検査の位置づけ～大腸がん検診マニュアル 改訂のポイント～」、ﾗﾝﾁｮﾝｾﾐﾅｰ1「がんゲノムプロファイリング検査について」ﾗﾝﾁｮﾝｾﾐﾅｰ2「H.pylori感染を意識した胃内視鏡検診」、ｱﾌﾀｽﾇｰﾝｾﾐﾅｰ「膵癌早期診断ストラテジー～ガイドライン2022年版の解説を含めて～」、ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ「がん検診におけるコロナ禍への対処」、特別講演「新型コロナウイルス感染症のこれまでとこれから」	特別講演1「大腸前癌病変としての鋸歯状病変の診断、治療、予防」特別講演2「Helicobacter pylori感染を考慮した早期胃癌の内視鏡診断」、教育講演1「肝臓のエコー検査と注意点」教育講演2「プライマリケア医でも膵癌の予後を改善できる！ ～松江市膵癌プロジェクト～」教育講演3「胃X線画像による背景胃粘診断」、ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ「消化器がん検診の現状と今後の展望」,一般演題,症例検討,ﾗﾝﾁｮﾝｾﾐﾅｰ1「潰瘍性大腸炎診療の現状とこれから」ランチョンセミナー2 「島根県肝疾患診療連携拠点病院におけるB型・C型肝炎対策」	ﾃｰﾏ：これからの消化器がん検診、会長講演：「消化器がん検診とともに30年」、教育講演 1.胃：井上和彦先生「胃がん撲滅をめざした検診と診療のコラボレーション」 2.大腸：野崎良一先生「これからの効率の良い大腸がん検診のために」、一般演題(胃・大腸・その他)、胃X線症例検討会、ランチョンセミナー：平澤俊明先生「人口知能が切り開く新しい医療・消化器がん検診にAIは有用化？」、放射線技師研修会：シンポジウム：大腸CTをいかに導入するか？」
医師研修会	回数	**医師研修会 （地方会に併催）**	**第31回医師研修会 （地方会に併催）**	**医師研修会 （地方会に併催）**	**医師研修会 （地方会に併催）**	**医師研修会 （地方会に併催）**	**令和4年度医師研修会 （地方会に併催）**	**医師研修会 （地方会に併催）**
	日時	2022年7月2日	2022年7月2日	2022年 9月4日 （9/16～9/30配信）	2022年11月26日	2023年1月14日	2022年11月26日～27日	2022年9月10日
	会場	札幌医科大学　臨床講堂(Web開催)	大手門パルズ（ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催）	WEB開催	福井県民ホール AOSSA 8階	奈良春日野国際ﾌｫｰﾗﾑ甍～I・RA・KA ～	ﾋﾞｯｸﾞﾊｰﾄ出雲	WEB開催およびオンデマンド配信2週間
	参加費	無	無	2,000円	無	無	無	無
	参加者数	17名	92名	26名	56名	50名	20名	15名
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	特別講演「これからの効率の良い大腸がん検診のために－内視鏡検査、大腸CT検査の位置づけ－」、教育講演「胃X線・内視鏡検診の多職種連携による精度向上」、DVD総論（対策型検診の基本的考え方）	特別講演「疾患横断的エビデンスに基づく健康寿命延伸のための提言（第一次）」 教育講演1.「山形県の除菌までを考慮したX線検診による胃がん死滅少対策の現状と今後の展望」 教育講演2「 胃がん死撲滅を目指した胃がん対策、胃がん検診 ～現状とこれから～」	教育講演1「胃X線検診安全基準　第2版完成までの道程と全国的な活用に向けて」、教育講演2「超音波判定2021」、ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ「地域別に見た対策型胃内視鏡検診の現状と問題点―都市部と山間部における運営の工夫」、ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ「公開討論　大腸がん検診が真の効果を発揮するには」	特別講演「日本の大腸がん死亡を減らすために、私たちは何をすべきか？」、教育講演「大腸がん検診における大腸CT検査の有用性とその実際」、シンポジウム「がん検診の普及にむけた新たな取り組み」、基調講演「大腸内視鏡の最前線～AIやLED内視鏡の活用～」、基調講演2「COVID-19感染拡大期における消化器がん検診の現況」	1）総論「精度管理なきがん検診はがん対策にあらず」2）大腸「大腸がん検診の現状と今後の展望」3）胃「胃がん検診の現状と今後の展望　-X線検診を中心に-」＊保健衛生研修会・放射線研修会と合同開催	特別講演1「大腸前癌病変としての鋸歯状病変の診断、治療、予防」 特別講演2「Helicobacter pylori感染を考慮した早期胃癌の内視鏡診断」、ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ「消化器がん検診の現状と今後の展望」	胃：井上和彦先生「胃がん撲滅をめざした検診と診療のコラボレーション」 2.大腸：野崎良一先生「これからの効率の良い大腸がん検診のために」
放射線研修会	研修会名	**第48回放射線研修委員会研修会**	**第25回放射線研修委員会研修会 （地方会に併催）**	**胃X線安全基準冊子改訂講座**	**放射線研修　読影補助ｺｰｽ**	**第48回近畿支部放射線研修会 （地方会に併催）**	第1回放射線研修会	**放射線技師研修会 （地方会に併催）**
	日時	2023年3月11日	2022年7月2日		2022年12月10日	2023年1月14日		2022年9月10日
	会場	Web開催	大手門パルズ（ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催）	コロナ対策のため中止	WEB開催	奈良春日野国際フォーラム甍～I・RA・KA ～	コロナ対策のため中止	WEB開催およびオンデマンド配信2週間
	参加費	1,000円	無		2,000円	地方会併催		無
	参加者数	162名	143名		113名	194名		200名
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ若しくはｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ、一般演題、症例検討会等	教育講演「 胃がん死撲滅を目指した胃がん対策、胃がん検診 ～現状とこれから～」 胃X線症例検討会		講義1「早期胃癌の内視鏡診断と治療の現状」、講義2「胃X線撮影と受診者コミュニケーション」、講義3「撮影時における所見の拾い上げと追加撮影」、講義4 「胃X線画像読影の実際」、講義5　実践読影補助	1）総論「精度管理なきがん検診はがん対策にあらず」2）大腸「大腸がん検診の現状と今後の展望」3）胃「胃がん検診の現状と今後の展望　-X線検診を中心に-」＊医師研修会・保健衛生研修会と合同開催		胃X線症例検討会。放射線技師研修会：シンポジウム：大腸CTをいかに導入するか？」
	研修会名	**第18回北海道胃がん検診専門技師研修会**	**2022年度放射線研修会**	**第81回関東甲信越地方会放射線ﾌｫｰﾗﾑ （地方会に併催）**	**消化管撮影技術向上ｾﾐﾅｰ**	**第49回近畿支部放射線研修会**	**第2回放射線技師研修会 （地方会に併催）**	
	日時	2023年3月12日		2022年 9月4日 （9/16～9/30配信）	2023年1月28日	2023年2月25日	2022年11月27日	
	会場	Web開催	コロナ対策のため中止	WEB開催	WEB開催	Web開催	ﾋﾞｯｸﾞﾊｰﾄ出雲	
	参加費	1,000円		無	会員2,000円、非会員3,000円	会員2,000円、非会員3,000円	無	
	参加者数	203名		253名	136名	186 名	33名	
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	認定技師向けﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（基調講演または教育講演、症例検討会など）		教育講演、症例検討会、ﾍﾞｽﾄｲﾒｰｼﾞｺﾝﾃｽﾄ	技師講演「胃X線画像の画像評価の基礎」、「描出困難例の任意追加撮影」、放射線研修委員会報告、医師講演「胃X線検診の新たな時代：除菌後時代を迎えて」、「本邦における胃がん検診精度管理の現状と将来への取り組み」、症例検討	教育講演1「胃がん検診における食道病変の診断～ 食道観察、不要にしていませんか？ 」、教育講演2「胃X線読影医が診療放射線技師に求める事～ 読影補助認定取得に向け、補助すべきポイント」、 症例検討	教育講演3「胃X線画像による背景胃粘診断」、症例検討会	
	研修会名			**第52回放射線研修委員会学術集会**	**放射線研修 撮影応用ｺｰｽ**			
	日時							
	会場			コロナ対策のため中止	コロナ対策のため中止			
	参加費							
	参加者数							
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ							
超音波研修会	研修会名	**第19回超音波研修会**	**第20回超音波研修委員会研修会 （地方会に併催）**	**第22回超音波ｾﾐﾅｰ**	**第18回超音波研修会 （地方会に併催）**	**第42回超音波研修会 （地方会に併催）**	**超音波研修会 （地方会に併催）**	
	日時	2022年4月2日	2022年7月2日	2022年6月1日～30日	2022年11月26日	2023年1月14日	2022年11月26日	
	会場	(Web開催)	大手門パルズ（ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催）	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ配信	福井県民ﾎｰﾙ AOSSA 8階	奈良春日野国際ﾌｫｰﾗﾑ甍～I・RA・KA～	ﾋﾞｯｸﾞﾊｰﾄ出雲	
	参加費	2,000円	無	会員2,000円、非会員3,000円	無	地方会併催	無	
	参加者数	229名	19名	122名	140名	46名	30名	
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	基調講演「超音波検診を臨床にどう活かす」特別講演「腹部超音波検診判定マニュアル改訂版2021」症例検討会	ﾃｰﾏ「膵がんの早期発見をめざして」 第一部教育講演「膵癌の早期発見を目指して～超音波担当者としてすべきこと～」 第二部教育講演「膵臓癌診療における一般健診の役割」	教育講演1.超音波でどこまでわかるか胆嚢、教育講演2.超音波でどこまでわかるか膵臓、教育講演3.超音波でどこまでわかるか肝臓	特別講演1「腹部超音波検診判定マニュアル改訂版における推奨記録画像の描出方法」、特別講演2「腹部超音波検診判定マニュアル改訂版を膵胆道領域の超音波検査に活用する」	1）症例検討会「症例から学ぶカテゴリー分類」2）特別講演「CEUSの肝腫瘤診断；日米の違い」	教育講演1「肝臓のエコー検査と注意点」、 教育講演2「プライマリケア医でも膵癌の予後を改善できる！ ～松江市膵癌プロジェクト～」	
	研修会名		**第13回福島ｾﾐﾅｰ**	第26回初心者のための 腹部超音波実技講習会		**第41回超音波研修会**		
	日時					2022年11月19日		
	会場		コロナ対策のため中止	コロナ対策のため中止		住友病院　講堂		
	参加費					会員500円、非会員1,000円		
	参加者数					50名		
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ					特別講演「超音波検診判定マニュアルの注釈を理解する～肝胆膵を中心に初級編～」、超音波ﾗｲﾌﾞ「効率のよいｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ走査手順」推奨25断面記録の走査、胆膵の体位変換を含めた良好な走査と記録、腎の体位変換を含めた良好な走査と記録		
	研修会名		**第15回東北ｾﾐﾅｰ**	**超音波ｾﾐﾅｰ （地方会に併催）**				
	日時		2023年3月4日	2022年 9月4日 （9/16～9/30配信）				
	会場		フォレスト仙台	WEB開催				
	参加費		2,000円	無				
	参加者数		52名	135名				
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ		第Ⅰ部【研究発表】 第Ⅱ部【講演】「後腹膜ってどのように見てますか？」 第Ⅲ部【講演】「腹部領域におけるカラードプラ法の装置設定の基本」	教育講演2「超音波判定2021」、超音波ﾗｲﾌﾞﾃﾞﾓ、一般演題				

2022年度日本消化器がん検診学会　7支部の各種事業報告

事業別	項目/支部	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
保健師研修会	研修会名	**地域保健研修会**	**第19回保健衛生研修委員会研修会 （地方会に併催）**	**保健衛生研修会 （地方会に併催）**		**第32回保健衛生研修会 （地方会に併催）**		
	日時		2022年7月2日	2022年 9月4日 （9/16～9/30配信）		2023年1月14日		
	会場	コロナ対策のため中止	大手門パルズ（ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催）	WEB開催		奈良春日野国際ﾌｫｰﾗﾑ甍 ～I・RA・KA ～		
	参加費		無	無		地方会併催		
	参加者数		20名	82名		194名		
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ		教育講演「大腸がん検診の現状と問題点 －青森県大腸がん検診モデル事業からわかったこと－」	＜保健衛生研修委員会・胃ｴｯｸｽ線検診安全基準作成委員会主催＞ 教育講演1「胃X線検診安全基準　第2版完成までの道程と全国的な活用に向けて」		1）総論「精度管理なきがん検診はがん対策にあらず」2）大腸「大腸がん検診の現状と今後の展望」3）胃「胃がん検診の現状と今後の展望　－X線検診を中心に－」＊医師研修会・放射線研修会と合同開催		
	研修会名			**胃がん検診受診率向上を目指して～保健師・看護師として考えること～**				
	日時							
	会場			コロナ対策のため中止				
	参加費							
	参加者数							
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ							
	研修会名			**大腸がん検診の現況から精密検査受診率向上策を考える**				
	日時			2023年3月9日				
	会場			WEB開催				
	参加費			無し				
	参加者数			41名				
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ			講演1　東京都における大腸がん検診の現状都立がん検診センターにおける精検受診率向上のための取り組み　講演2　大腸がん検診受診率、精検受診率向上に向けた受診者のニーズ　質疑応答				
内視鏡研修会	研修会名		**第1回内視鏡検診研修会**	**内視鏡研修委員会研修会 （地方会に併催）**				
	日時		コロナ対策のため中止	2022年 9月4日 （9/16～9/30配信）				
	会場			Web開催				
	参加費			無				
	参加者数			111名				
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ			ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ「地域別に見た対策型胃内視鏡検診の現状と問題点―都市部と山間部における運営の工夫」、ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ				
	研修会名			**東京都府中市医師会 胃がん検診講習会 （共催）**				
	日時			2023年3月8日				
	会場			東京都立がん検診センター 講堂				
	参加費			無				
	参加者数			１５名				
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ			2022年度発見胃癌症例検討など				
	研修会名			**立川市医師会 胃がん検診講習会 （共催）**				
	日時							
	会場			コロナ対策のため中止				
	参加費							
	参加者数							
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ							
	研修会名			**杉並区医師会 胃がん検診講習会 （共催）**				
	日時							
	会場			コロナ対策のため中止				
	参加費							
	参加者数							
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ							
その他	研修会名						第1回放射線研修委員会	
	日時						2022年8月7日	
	会場						岡山国際交流センター	
	参加費						無	
	参加者数						委員8名（内4名ズーム）	
	主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ						放射線技師研修会を中止し、『放射線研修委員会』のみを、ズームミーティングを利用したハイブリッド方式にて開催	

2022年度　正味財産増減計算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I　一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	40,095,000	40,281,000	△ 186,000
賛助会員受取会費	2,660,000	2,820,000	△ 160,000
一般会員受取会費	28,172,000	27,538,000	634,000
支部通信費収益	3,193,000	3,182,000	11,000
受取会費計	74,120,000	73,821,000	299,000
事業収益			
機関誌収益	182,500	180,000	2,500
出版物頒布収益	1,315,534	614,408	701,126
広告収益	486,000	486,000	0
倫理審査手数料収益	20,000	0	20,000
認定手数料収益	6,230,000	1,940,000	4,290,000
認定研修受講料収益	3,071,000	2,056,000	1,015,000
技師認定手数料収益	12,343,000	14,576,000	△ 2,233,000
技師研修受講料収益	1,770,000	2,330,000	△ 560,000
事業収益計	25,418,034	22,182,408	3,235,626
学術集会収益			
参加費収益	20,795,000	22,195,000	△ 1,400,000
研修受講料収益	1,951,500	1,580,500	371,000
協賛金収益	10,547,000	9,315,000	1,232,000
展示収益	1,631,000	2,110,000	△ 479,000
広告収益	5,159,000	6,979,000	△ 1,820,000
受取寄付金	3,620,000	4,222,000	△ 602,000
雑収益	605,052	1,777,007	△ 1,171,955
学術集会収益計	44,308,552	48,178,507	△ 3,869,955
雑収益			
雑収益	192,000	847,817	△ 655,817
雑収益計	192,000	847,817	△ 655,817
経常収益計	144,038,586	145,029,732	△ 991,146
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	26,638,760	21,323,760	5,315,000
臨時雇賃金	405,000	252,000	153,000
退職給付費用	1,924,500	237,000	1,687,500
法定福利費	3,519,801	3,454,017	65,784
福利厚生費	212,085	176,795	35,290
旅費交通費	908,762	398,858	509,904
通信運搬費	2,281,980	1,799,724	482,256
広報費	4,495,729	5,827,059	△ 1,331,330
会議費	494,827	469,766	25,061
発送費	408,650	48,882	359,768
奨励費	111,370	167,055	△ 55,685
消耗品費	163,764	84,678	79,086
修繕費	1,786,950	1,382,991	403,959
印刷製本費	14,473,351	15,548,184	△ 1,074,833
光熱水料費	326,830	268,964	57,866
会場費	2,325,364	3,927,510	△ 1,602,146
運営費	2,033,376	708,510	1,324,866
賃借料	4,822,875	4,880,275	△ 57,400
諸謝金	4,180,195	4,919,791	△ 739,596
記念品費	761,320	1,028,880	△ 267,560
租税公課	65	49	16
委託費	42,969,696	36,816,299	6,153,397
支払手数料	3,048,355	2,976,027	72,328
雑費	0	500	△ 500
事業費計	118,293,605	106,697,574	11,596,031
管理費			
給料手当	7,248,963	1,932,048	5,316,915
退職給付費用	396,000	131,000	265,000
法定福利費	185,100	181,785	3,315
福利厚生費	11,159	9,303	1,856
旅費交通費	57,964	7,318	50,646
通信運搬費	1,771,000	1,773,855	△ 2,855
会議費	73,760	18,359	55,401
減価償却費	1,600,310	2,138,263	△ 537,953
消耗品費	1,136,614	404,800	731,814
修繕費	121,550	72,789	48,761
印刷製本費	1,057,880	975,689	82,191
光熱水料費	17,199	14,154	3,045
会場費	0	263,813	△ 263,813
賃借料	253,021	256,853	△ 3,832
租税公課	1,347,649	1,386,489	△ 38,840
顧問料	1,293,600	1,148,400	145,200
支払手数料	538,824	336,898	201,926
雑費	288,231	381,344	△ 93,113
管理費計	17,398,824	11,433,160	5,965,664
経常費用計	135,692,429	118,130,734	17,561,695
評価損益等調整前当期経常増減額	8,346,157	26,898,998	△ 18,552,841
当期経常増減額	8,346,157	26,898,998	△ 18,552,841
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
固定資産除却損	2	0	2
固定資産売却損計	2	0	2
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額	△ 2	0	△ 2
当期一般正味財産増減額	8,346,155	26,898,998	△ 18,552,843
一般正味財産期首残高	240,203,807	213,304,809	26,898,998
一般正味財産期末残高	248,549,962	240,203,807	8,346,155
II　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III　正味財産期末残高	248,549,962	240,203,807	8,346,155